

新居浜高専の思い出 その①

昭和 45 年機械工学科入学 50 年卒業、9M 佐野満秋

平成 31 年 1 月 26 日

「石橋を叩いては渡れない」：昭和 46~47 年で高専 2 年生の時だったっけ、初代校長小藤甫先生のご友人の西堀栄三郎先生がご講演下さった。西堀先生は初代南極越冬隊隊長を務められたそうで、中学校で習ったあの「雪山賛歌」を作詞された方なんだそう！若輩者の小生は全く知らなんだ。ご本人は学生時代に山岳部に所属され山に登っていた時に其の詩を思いついたらしい。で、その歌が売れて予想外の収入になり、部の活動資金になったそう。でも学生としての本分に加え真空管の研究の片手間でガラス細工師としても鍛錬為さってたそうで、その技能は後の特殊真空管の製造に活かされたそうです。(以下、記憶が曖昧でニュアンスが史実と乖離しているかもしれませんがご了承ください。

(史実の詳細はこちら：<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A5%BF%E5%A0%80%E6%A0%84%E4%B8%89%E9%83%8E>)

(又はこちら：https://twitter.com/e_nishibori_bot)

- ① 戦時中の事、ドイツ軍が使用していた特殊な真空管の製造を日本企業では初めて成功したそうである。その時の回顧談が：軍のお偉い方々がやってきて見本を見せ「これと同じものを作れ！」とすごんだらしい。他社でも同様に開発命令をされておっらしいが何処も成功できなかった。西堀さんはその命令には「全く同じものはできないかもしれないけれども同じ機能のものであれば良いのではないですか？」と回答したそうである。理由としてドイツのメーカーと日本のメーカーでは材料や設備が異なるだろうから同じ形状・寸法のものを作るより機能を重視して形状と寸法は日本の設備の能力に見合ったものが妥当！との判断であったそう。かくして見本を詳細調査解析を始めると様々な状況が判明しその性質を構成するために今の設備でどのように対処するかを考えて「同じ機能の物」を短期間で作り上げたそうです。そこでの学生への助言として「皆さんも将来企業で働く折、このように海外で開発した物を国産化する機会に遭遇する機会がきっとあるでしょう。その時にはこの話を参考に見て下さい」と。
- ② 南極越冬隊の準備段階での閑話休題：「南極の冬は寒いので隊員一人当たり毎日二合の酒を追加して欲しい」と当局に要請したんだと。その後、酒のメーカーで製造状況を立会した時の驚きの実状。メーカー曰く「日本酒のアルコール分は 14%程度。それオリジナルのまま梱包するとしたら容積が嵩張(かさば)る。船倉の空間が足りなくなるだろうから濃縮することにした。で、酒の水分を減らしエタノールを追加して濃縮する。南極には雪と氷は一杯あるだろうからそれで好みの状態に薄めて飲んでよね！」ですと。まあ一応、酒の味はしたそうだ。そして凍死者は出なかった。
- ③ 南極に着いて作業を始めたら防寒着の損傷が予想外に頻発した。その修理係を決める時に裁縫の得意なやつが居なかった。で、くじ引きで決めた。ところが当たった彼は一番の不器用者だった。どうなることやら心配であったが、彼が出したアイデアは：破れ

たところにガムテープを当てがって塞ぐ方法であった。速くて簡単で実に巧く行った！
正統派=針と糸での裁縫を目指したならきっと時間が掛って担当者は寝不足になってい
てことであろう。常識を逸脱してようと邪道と言われようと目的は十分に果たせた。「固
定観念にこだわるべからず。手法はさておき目的のみを目指してブレイクスルーすべし」

- ④ 以上の話のまとめとして、「新しい仕事を始める時には温故知新も大事だし、慎重に調
査・検討することも大事だが、石橋を叩いては橋が壊れる危険すらある。経験者の
意見も大事だが若い君らにはその経験がない。真の目的を見極めそれに到達する最も容
易な方法からまづは試してみるべし。石橋を叩いては渡れない、飛び越せ！」と。
- ⑤ その時に話されたかどうかは覚えていないけれど、相対性理論でノーベル賞を受賞した
彼のアルベルト・アインシュタイン理論物理学博士が来日した時には通訳として活躍し
京都や日本を案内紹介されたそうなの！おっそろしく偉大な人の教えを賜ったのであっ
たよ。

一方小生が 1997 年から定年までの 17 年間単身赴任した滋賀県^{えちぐんえちがわちやう}愛知郡愛知川町の会社
の近くに西堀栄三郎記念館というのがあって、夏休みに家族が来てくれた時に訪れてみ
た。T シャツで入館し防寒具を借りて -30°C の氷の世界に入ると濡れたタオルは瞬時に
凍り、鼻毛も凍ったぜ。南極疑似体験！因みに南極の冬場の最低気温は -70°C 程らしい。
其処にそんなものが何故にあったのかは^{いききつ}経緯不詳。興味ある方、どうぞご覧あそばせ。